



作業療法とは

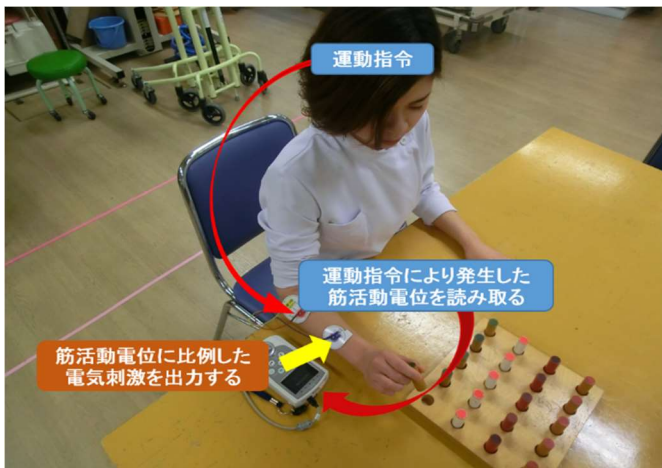
「人は作業をすることで元気になれる」人は色々な活動によって生活が営まれています。ひとたび病気になったり、障がいをおうことによって今まで出来ていたことが出来なくなったりします。私たちは「その人にとって意味のある作業・生活行為」に焦点をあて様々な手段を講じてそれらを少しでも獲得できるように支援していきます。

身体機能のリハビリ

ご病気になられると、手や足、体の動きが不自由になることがあります。また、入院中の環境は、ご自宅と比較して活動性が制限されることがあり全般的に筋力が低下することがあります。それらに対して機能訓練を行い、最大限もとの機能の獲得をめざします。



病気やけがなどで手を損傷された方に、ハンドセラピーをおこない「再び生活できる手」の獲得をめざします。



脳卒中になると、手や足に麻痺が生じることがあり、日常生活に支障が生じることにつながります。当院では、麻痺の治療に、随意運動介助型電気刺激装置（IVES）など、脳卒中ガイドラインで推奨されたリハビリを提供しています。

日常生活動作のリハビリ

障がいを患うことによりできなくなった日常生活動作（食事、更衣、トイレ、整容、入浴）や家事動作など生活の必要な動作の再獲得を目指します。





生活関連動作のリハビリ

患者様おひとりおひとり、これまで住まれていた自宅環境や、家事などの役割等、元の生活に戻るために必要な動作に違いがあります。元の生活に戻るために必要な動作訓練や環境調整を行い、大切な役割の再獲得を目指します。



自助具を用いた動作の再獲得

病気やけがにより不自由になったお体でも、病前に行っていた動作が行えるように、自助具の検討や作成を行っています。一部紹介します。



片手で使える爪切り



食材を固定できるまな板



靴下を履く道具

精神・高次脳機能障害に対するリハビリ

病気になると、「やる気」や「意欲」が低下することがあります。病前からなじみのある趣味や興味のある活動を用いて、いきいきとした生活の獲得を目指した支援をしています。

高次脳機能障害になると、記憶や注意力の低下、判断力の低下をきたすことがあり、それにより日常生活に援助が必要になることがあります。患者さんに合わせた方法で、回復を促したり、残された機能を生かしたりして、動作を再獲得する練習を行っています。



社会復帰を目指したリハビリ

障がいが残存した状態でも、復職を目指したリハビリを提供しています。仕事に必要な、通勤動作、パソコンのキーボードを早く打つ練習や、書字、自動車運転評価などを行い社会復帰の実現を目指しています。

